

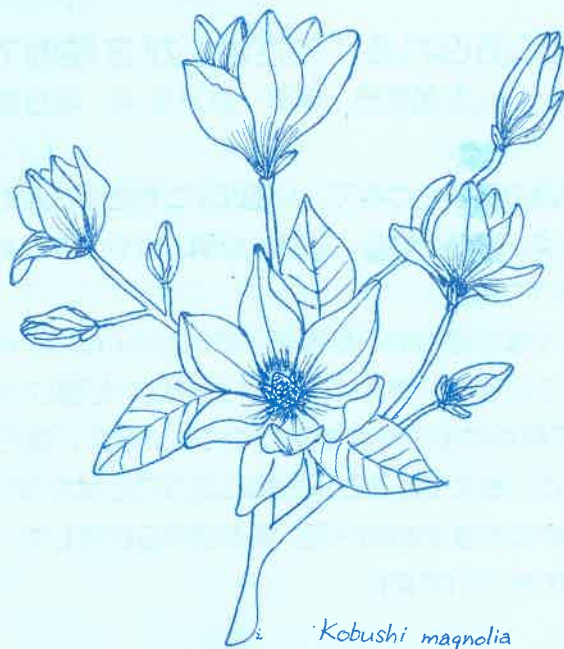
一般向け 今川図書館だより

いまがわーんど

2020年 3月号

今月のテーマ

「極める」



Kobushi magnolia

新型コロナウイルス感染症の拡大により、
行事等を中止にする場合がございます。

事前にお問合せください。(03-3394-0431)



今月の特集「極める」



時代の流れとともに、人の価値観も多様化しています。自分らしく生きるために、これぞという道を極める。こだわりが織りなすライフスタイルは、きっと心地よいはず。

今月は、伝統的な技から、自分だけの発想まで、様々な「極める」をご紹介します。



『図解身近にあられる「生き物」が3時間でわかる本』

左巻健男 / 編著 2018年 明日香出版社 460円

私たちは普段の暮らしの中で、人間以外にもたくさんの生き物に囲まれて生きています。家の中や庭、道端、公園、川や山などあらゆるところに生き物はいるのです。

この本はそんな生き物の不思議を、微小なウィルスから大きなクマまで、幅広く紹介しています。例えば、「カルガモはなぜ春になると引越しをするの?」「家で見かけるクモは巣をつくれぬの?」など、特に珍しい事ではないけれど、考えてみると不思議に思うことばかりです。身近な生き物の生態を極めたおすすめの一冊。読みながら談笑して、誰かと楽しい時間を共有するのもいいですね。



『おくのほそ道 松尾芭蕉』

長谷川權 / 著 2014年 NHK出版 915.5円

「古池や 蛙飛び込む 水のおと」

この句は芭蕉が人生の半ばで、「心の世界」を初めて詠んだ句である。それまでの風景描写や言葉遊び中心の俳句の歴史の中で、新しいスタイルを創造した、パイオニアとも言える画期的な句である。

その後芭蕉は、風景と心の世界の融合からさらに、宇宙との関わりを求めて、みちのくへと旅立つ。

奇しくも旅の始まりは3月初旬。『おくのほそ道』を記すことを通して極めた芭蕉の句と、芭蕉が重きを置いた「不易流行」「かるみ」の世界を、ゆっくり味わうのも面白いだろう。



『字幕屋の気になる日本語』

太田直子 / 著 2016年 新日本出版社 778円

映画をご覧になりますか?昔と違い今は、英語圏以外のアジアやインドなど、様々な国の映画が公開されています。映画を鑑賞するときに、言語のこだわりをなくしてくれるもの、それが字幕です。

字幕はセリフを読む時間と映画の場面の変換とに合わせる、秒単位の世界。字幕作業の前には、スポッティングというセリフの長さをはかる行程もあり、一秒4文字という字数制限の中で妙を得たセリフを記します。

著者は「ボディーガード」「パイオハザード」などを手がけた字幕翻訳家であり、同じ映画にかかわるすべての裏方スタッフにも、その道を極めたプロフェッショナルとして敬意を表しています。

本書には映画字幕のつくり方も紹介されており、気軽に読めます。字幕付き映画を見るのが楽しくなりそうです。



『おいしさの科学 絶対に失敗しない料理のコツ』

松本仲子 / 著 2016年 幻冬社 **596マ**

科学でいつもの料理がもっと簡単に、間違いなくおいしくなる！この本は、下準備から保存までの料理の手順やコツを極めるための、知恵がたまっていた一冊。34種類のレシピも紹介されています。

「青菜のゆで湯に塩は必要ない」「さしすせその順番にこだわらなくていい」「レバーは水につけるだけで臭いがとれる」など、昔の常識にとらわれない、現代のライフスタイルや食事情に合わせた新常識も生まれています。

味の好みは十人十色と言いますが、自分の家族が「おいしい」と感じるように料理をアレンジしてみるのも、おいしさの秘訣となりそうです。



『最強の女 ニーチェ、サン＝テグジュペリ、ダリ』

…天才たちを虜にした5人の女神』

鹿島茂 / 著 2017年 祥伝社 **280カ**

男性至上主義がまかり通っていた20世紀にも、自由に自分を貫いて生きた女たちがいた。とりわけ芸術家のミューズとして、ひととき輝く特別な5人。その恋と人生は壮絶だ。感性鋭い文化人たちは、互角以上に渡り合える聡明な彼女たちに吸い寄せられずにいられない。骨抜き愛と絶望を味わい、はじめて天才の底力を発揮するのだ。

しかし、たとえ彼らが「時代を作った」のだとしても、人間の価値は業績や歴史とは関係ない。彼らの著作やエピソードが何百年も残るほど「強い」のは、信じる道を極めようと革命を試み続け、徹底して自由に表現し、どんな時代であれ生き残ったからに他ならない。

この熱っぽい男と女の目に、今、この燃えさしの21世紀はどのように映るだろう。



YA におすすめ！



中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します。

『生きづらさを抱えるきみへ 逃げ道はいくらでもある』

withnews編集部 / 著 2019年 ベストセラーズ **YA159ウ**

SNSの流行など情報過多の時代、ほんの何文字かの言葉で傷ついたり、他人とのかかわりの難しさに悩んだり、なんとなく生きづらさを抱えている人が多いのではないのでしょうか。

この本にはいじめ、虐待、病気、不登校、ひきこもり、自殺未遂など、重い言葉が数多く出てきますが、これらは、実際にそういった経験をしてきた人たちが「命の尊さ」について語るリアルな言葉です。

立ち向かうのではなく、「いつでも逃げ出せる」ことを知ったなら、何も変わっていないように見えても、それは、現状打破に向けて、すでに大きな一歩を踏み出しているのです。この本は、少なからず生きづらさを抱えるみなさんに「逃げ出す勇気」を与えてくれるはずです。



☆「YA コーナー みんなの掲示板」☆ 3月のテーマ



卒業式

卒業

春は別れと出会いの季節。

卒業にまつわるメッセージを！





新着本コーナー



今川図書館に新しく入った本の中から、おすすめを紹介します。

『歌声は贈りもの こどもと歌う春夏秋冬』

白井明大/文 2020年 福音館書店 **767.7シ**

大人にはだれしも、子どもの時代がありました。幼い頃、ご家庭で両親や祖父母と、保育園や学校で先生と一緒に歌った「わらべうた」。ちょっと聞いただけでも、当時を想い、郷愁に誘われます。

本書では24曲の「わらべうた」を春夏秋冬に分け、立春から始まる二十四節気の季節に沿うように、音源CDとともに載せています。1曲ずつ、その曲にまつわるエピソードや著者の思い出も綴っています。

夏の歌「七つの子」の2番では、「可愛 可愛と鳥は啼くの 可愛 可愛と啼くんだよ」我が子がかわいいと一心に歌います。自分を大切に思ってくれる人の歌声は、子どもの心をやさしく包み、幸せな気持ちにしてくれます。どんな時代であっても「わらべうた」を歌い、絵本を読むような時間と心の余裕を持ち、世の中全体で親子をゆったりと見守りたいですね。



展示「3.11」

日時：3月3日（火）～11日（水）

東日本大震災から9年が経とうとしていますが、いまだに避難を余儀なくされている方々がいらっしゃいます。

災害の恐ろしさを再認識し、新たな災害に備えるために、『地震被害シミュレーション』（杉並区・平成30年10月）ほか、関連資料を展示いたします。



みどりのコーナー

地域の緑化推進を、本のチカラで強力にサポート。
今川図書館がおすすめする緑化関連資料をご紹介します。

『押し花コラージュブック 花びらから生まれた小物たち』

森野美沙子 / 著 2011年 誠文堂新光社 **726モ**

卒業式など、生花をいただく機会が増えてくるこの季節。大切な思い出の花なのに、すぐに枯れてしまうのは悲しいですね。そこで、いただいた花を押し花にするのはいかがでしょうか。

本書は、特別な道具や材料を使わない、シンプルな作り方を記載。さらに、保存方法などの基礎知識はもちろんのこと、雑貨やアクセサリなどに活用するアイデアまで多数紹介しています。

押し花の魅力は、記憶をとどめておけること。作品を眺めていると、その花をいただいた時の情景など様々なことが浮かんでくることでしょう。身近に置いて、いつでも、いつまでも楽しみましょう。



◇展示「春」◇

三月の声を聞くと春を感じられます。みどりも次第に色鮮やかになることでしょう。

場所：1階 みどり展示コーナー





3月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	休館日			おはなし会		
8	9	10	11	12	13	14
	おはなし会	あかちゃんおはなし会		おはなし会		
15	16	17	18	19	20	21
	おはなし会			休館日		
22	23	24	25	26	27	28
	おはなし会			おはなし会	あかちゃんおはなし会	
29	30	31				
開館時間 月～土 9時～21時 [影付き]の日(日曜・祝日)は9時～17時 休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については、児童向け図書館だよりをご覧ください。

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431